

# 令和8年度 札幌市立琴似中央小学校 学校経営方針

## 学校教育目標 <目指す「もえぎの子卒業時の姿」>

- 進んで学び、よく考え、創造性豊かな子どもの育成 【かंगाえる子】
- 相手の気持ちや集団志向を理解し、助け合う心豊かな子どもの育成 【やさしい子】
- 粘り強く行動する意欲をもち、目標に向かって努力し続ける子どもの育成 【やりぬく子】
- 健康のために心と体を鍛える子どもの育成 【げんきな子】

### ◆子どもの実態◆

- 素直・明朗
- △思いやり・優しさ
- △粘り強さ・柔軟性
- △先生や仲間と関わる力
- ▲思考力・判断力・表現力

### ◆琴似中央小ポリシー◆

- ☆誰にだって得意・不得意があって当たり前
- ☆誰にだって伸びる可能性を秘めている
- 子どもを育てる  
プロ意識をもつ教職員集団

「主体的・対話的で、深い学び」と  
「個別最適な学び・協働的な学び」  
の両輪による教育の実現

札幌市が目指す人間像  
「自立した札幌人」  
◆令和8年度 札幌市の学校教育

### 令和8年度 学校経営の重点

**つながり ひびき合う 清らかな学校**

【八軒東中パートナー校目指す子どもの姿：夢・心・学びでつながり、しなやかに生きぬく八軒の子】

#### つながり

- 進んで明るいあいさつができる子
- 学校や社会のルール・マナーを理解し、生活に適應できる子
- 教職員、友達などへ心をよせて、話を聴き、じっくり考え、よりよい行動ができる子
- 多様な対象や人々、異学年との交流を受け入れ、興味・関心をもち、そのよさや美しさを認める子
- 課題に対し粘り強く最後まで取り組み、「分かった・できた・学び合った」自分や自分たちに自信をもつ子

#### ひびき合う

- 自分の思いや考えと他者の考えを比較したりつなげたりして考え、言葉や文字、図などで表現する（発信する）子
- 見通す・振り返る経験から自他のよさに気づき、自己肯定感を高める子
- 相手意識をもって自分の気持ちを伝えたり、意見を交わしたりする経験から多様な相手に共感し、相互承認の感度を高め、思いやりのある行動ができる子
- 学んだ経験を生かし、よりよい自分に向けて自己調整し、八軒地区で前向きに生活する子

「いじめゼロ」「ウェルビーイング」「シティズンシップ」 **清らかな学校**

## 【目指す教職員の姿】

全員が学校の「顔」⇒ 子どもの模範となる当事者意識

- ★誰にでも笑顔で丁寧な挨拶、誠意ある応対・渉外（職員同士・電話・来客・業者等）
- ★諭し、導く生徒指導の励行【発達支持的生徒指導へ】
- ★校務分掌業務の活性化と、主任・部長会による校務の円滑な推進
- ★キャリアステージを踏まえて自分の学びをデザインし、絶えず研鑽と修養を積み、資質・能力（職能）の向上を図る【研修履歴の更新】
- ★持続可能な学校づくりの推進（働き方改革で子どもへの関わりを充実）と、よりよい教育環境整備の推進

【学校づくりに向け、つながり ひびき合うワーキングチーム】  
～互いの声を聴き、共有・共感から粘り強く校務運営～

- 組織的対応により誰一人とり残さない「子ども支援部」

- 課題探究（AAR）の実践を積み上げる
- 自治的な活動、相互承認の感度を高める  
体育科と他の運動機会、健康教育を施す

「学ぶ力」育成部  
「豊かな心」育成部  
「健やかな体」育成部

- 教育環境を整え、保護者・地域とつなぐ「学校創造」部
- ★「主任・部長会」、「いじめ防止対策委員会」は、月イチ開催

全ての教職員が同じ指導戦で  
6年間を積み上げる

- ★子どもの特性を踏まえ、声を聴く・受け止める・応える
- ★年間を通した4つの「あ」の指導の継続
- ★「2026よくわかる琴似中央小」の徹底・啓発
- ★学年研修の強化・充実
- ★デジタル学習基盤の活性化

情報の把握・確実な共有

各部アクションプランの  
確実な実行<次頁>

- ◆人間尊重の教育の深化（…さん呼び統一・多様性への対応）
- ◆一人一人のニーズに寄り添った組織的で継続的な特別支援教育
- ◆学年担任で学年の子どもを育てる意識・実現

子どもの育ちをエビデンスやエピソードで語り、  
PDCAサイクル、OODAループでアップデート

人間尊重の教育 子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校（多様性・包摂性の対応）

教職員全員で  
もえぎの子全員を  
育てる

子ども支援部：「組織的な生徒指導」、困っている子へ「適切な支援」の工夫

- 「直す」から「育てる」生徒指導の確立と実施、迅速に情報共有を図るための発信
  - ※児童同士の関係性を育て、つながりを広めることができるような研修と各学級での実践
  - ※年に2回の児童理解交流会の実施と定期的な学びの支援委員会の開催
- 一人一人の適切な学びの環境を提供できる支援体制の確立・準備、教育的ニーズを満たす支援の計画的・継続的な実行
  - ※ケース会議を開催し、適切な学びの場や支援体制の確立を図る
  - ※特別支援学級とともに通常学級の支援を必要とする児童の個別の教育支援計画の作成や加除修正
- 不登校児童（含 家庭）の思いを受け止め、子どもと学校をつなぐ様々な取組（教育支援センター、放課後、on-line等）
  - ※不登校児童への組織的な対応を考え、「誰一人取り残さない」ために全職員に段階に応じた対応の仕方を周知し、共通して取り組む
  - ※不登校の予防的未然防止の視点や感覚をもち、居場所づくりによる子どもと学校をつなげる取組の継続をしていく

子ども支援部  
など

学ぶ力育成部：学ぶ力育成プログラムの作成・運用・評価等

- 個の学び（A）、対話や協働による学び（A）、学んだ力と活かす力（R）を育成するプロセスを重視した課題探究的な学習
  - ※学びの土台となる「琴似中央小スタンダード」の確立・共通理解
  - ※全校研や部内研、札教研などの授業検討・実践を通して、「表現力の育成」「自らの学びに手応えを感じられる振り返り」を目指していく
- リアル感や本物との出会い等から対象や人とのつながり、自分を高めようとする子どもを育てる
  - ※校外学習や出前授業、地域とつながる場の設定。そこから刺激を受け自分を高めようとする子どもの育成
- ICTの日常的かつ効果的な活用を目指した授業研究
  - ※授業における効果的なICT機器の利活用方法の検討、効果的にICT機器を活用できる子どもの育成
- 琴似中央小学校の子どもたちを育てる
  - ※学校生活の様子や各種アンケート等による児童の強みや弱みの把握、「自ら学ぶ子」育成に向けた実態に応じた手立ての構築

「学ぶ力」  
×  
「豊かな心」  
×  
「健やかな体」

豊かな心育成部：豊かな心育成プログラムの作成・運用・評価等

- 自分のよさや伸びを感じ、よりよい自分を目指して前向きに生活する心、相手意識を育てる
  - ※ペア学年活動・縦割り活動の振興
- 学校生活をつくる3つの「あ」の徹底・定着を図るとともに、いじめを許さない取組などの充実
  - ※節の区切りで子どもが振り返る機会の設定、教師の指導効果の検証（フォームによる反省）
  - ※キャリアパスポートに3つの「あ」の振り返り項目を設定、自分の成長の記録を残せるように教務と連携
- 「PLASのまほう」を踏まえた自治的な活動による仲間と支え合う活動（学級会活動等）や児童会活動により相互承認の感度を養う
  - ※リアクションがかえってくるような取組、それによって、やった側に実りがある取組

育成3部の  
トライアン  
グル

健やかな体育部：健やかな体育プログラムの作成・運用・評価等

- 運動機会の保障（朝縄跳び、異学年での長縄跳び等、グローブ&ボール投げ運動の推奨）と全国調査やスポーツテストでの検証
  - ※「シャトルラン記録会」や「ソフトボール投げ練習」などの企画
- 体育科の学習における端末の活用による課題探究的な学習
  - ※質問紙や児童アンケートによる見取り
- 自分の健康のために心と体を進んで鍛えようとする態度を養うため、体育保健の授業の充実（基礎体力の向上等）を図る
  - ※保健指導や保健だよりの教室呼びかけなどで、子どもたちに健康への目を向けさせる
- 健やかな体への興味・関心を高める保健、食育指導の充実（例：性指導や食育）とホームページへの情報発信
  - ※学年に応じた性指導や給食時間の食育の放送などの取組

学校創造部

学校創造部：子どもにとって最適な教育環境の整備、教育DXの推進

- 円滑な教育活動を推進するための著作権、肖像権、情報セキュリティに関する研修等
  - ※「事例で学ぶネットモラル」や非行防止教室で子どもと共に学ぶ
- 教育用端末、校務用端末の管理・保全と、子どものタイピングスキルの状況把握、情報モラル教育の徹底
  - ※タイピングが苦手な子どもへの支援
- 学校の働き方改革を推進する校務のデジタル化に資する研修・啓発（エクセルの活用、生成AIを活用した文書作成研修等）
- 適切な備品管理、予算措置・執行、徴収金の適正管理
  - ※必要な情報を提案し、検討しながら予算措置・執行
- 保護者・地域へ積極的な教育活動の公開
  - ※参観懇談や個人懇談の計画、実施をしていく。学習成果発表会の内容を新しくし、計画、実施していく。

各種特別  
委員会など

各節での評価・改善